



# 園だより

令和2年4月 9・10・13日

佛教大学附属幼稚園

「仏教保育 4月のねらい」

合掌聞法



## 「はじめまして」

園長 佐藤和順

ご入園・ご進級おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

4月は出会いの月です。幼稚園は、入園した園児にとって、初めて経験する集団生活の「場」になります。大好きな家族と離れての生活。園児、保護者にとっても期待よりも不安が大きいことでしょう。また、進級した園児は1つ学年が上がることにワクワクする半面、新しいクラスの友達や先生と仲良くできるのかドキドキしていることでしょう。期待や不安が入り混じる4月ですが、園児には集団生活の楽しさ、友達と遊ぶことの楽しさをしっかりと伝えたいと思います。園生活の楽しさが基盤となり、安心安全な園生活、笑顔あふれる楽しい1年に繋がっていきます。

私も4月より附属幼稚園長として着任いたしました。佐藤和順(さとう かずゆき)と申します。これまで佛教大学教育学部教育学科に所属し、教師や保育者を志す学生とともに学修・研究をしておりました。4月から附属幼稚園の園児とともに過ごす時間を、ワクワク、ドキドキしながら楽しみにしています。人格形成の上でもっとも大切な幼児期を、当園で一緒に過ごせることをとてもうれしく思います。

さて園だよりの「園長のことば」では、園児や保護者の皆さまに伝えておきたいことや考えてほしいことを、その月の保育目標にそって私なりに簡単にご紹介いたします。家庭での子育ての一助としていただければ幸いです。

今月の保育目標は「合掌聞法(がっしょうもんぼう)入園・進級を喜び園生活に親しもう」です。「合掌」とは両方の手を合わせるという動作で、自分は争わないという姿を表しています。「聞法」とは道理を知る、相手の話をよく聞くという意味です。争わないことは人間関係をつくる前提となります。話を聞くということもコミュニケーションの観点からとても大切なことです。人間関係を構築し人の話を素直に聞くことは、社会性を養う第一歩なのです。園児に「合掌聞法」を育てるためには私たち大人が良いお手本となり、子どもの話にしっかり耳を傾けることが大切です。新しいクラスのこと、友だちのこと、先生のこと、園での経験など、園児は帰ってからもたくさんのお話をすることでしょう。その時はぜひ「合掌聞法」の心でしっかり聞いてあげてください。

教職員一同も「合掌聞法」の心で園児に接し、楽しい園生活を送ることができるよう努力してまいります。

1年間、よろしくお願いいたします。